

令和8年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立十二町小学校

<本年度の重点目標>

なりたい自分へ向かい、自ら考え、挑戦する子供の育成

	アクションプラン1	アクションプラン2
重点課題	確かな学力の育成 (進んで学び、表現する子供)	豊かな心と健やかな体づくり (温かく、思いやる子供、たくましく生きる子供)
前年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や対話タイムで継続して「話型」を活用したり、「話す目当て」を設定したりしたことによって、順序を意識して話したり、理由を明確にして話したりする力が高まった。各学級の実態に応じて板書で言葉を示す、ワークシートに話の構成を考えてから話すなど、教師が手立てを工夫したことも有効であった。一方、「聞き方表」を活用したり、「聞く目当て」を設定したりしたが途中で姿勢が崩れたり、うなずきながら聞いたりすることはできていない子供がおり、継続して指導していく必要がある。また、話す力は高まってきたため、理由や例を踏まえて書くなど、詳しく書く力を高めていく必要がある。 ・代表委員会で挨拶に関する重点目標を決めて挨拶週間に取り組んだ。「挨拶カード」を用いて自己評価をしたり、放送で挨拶名人を紹介したりしたことによって、相手を意識し、自分から気持ちのよい挨拶をしようとする意欲を高めることができた。また、「ほかほか週間」で見つけた自他のよいところをカードに書き、「十二町っ子ほかほかの木」に掲示したり、放送したりしたことで友達のよさに気付いたり、互いを認め合ったりする機会となった。一方、挨拶週間以外ときには気持ちのよい挨拶をする意識が低かった。また、日常会話の中に乱暴な言葉遣い等が見られるため、相手を思いやる言動や場に応じた言葉遣い等、継続して指導していく必要がある。 	
具体的な達成目標 (数値目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話をよく聞き、自分の思いや考えを伝え合うことができる。(80%以上) (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B・C・D評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある言動を取ることができる。(80%以上) (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B・C・D評価)
行動I (方策)	<方策1> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の話を聞く態度が向上するように、「聞き方表」を教室に掲示し、授業でのペア・グループ学習で活用するとともに、自分の態度を振り返る機会を確保する。 <方策2> <ul style="list-style-type: none"> ・対話タイムでは伝え合いが生まれるようにテーマを工夫したり、授業では効果的な対話ができる場面でペア・グループ等の学習形態を取り入れたりして、子供たちが主体的に話すことができるようにする。 	<方策1> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが主体となって挨拶運動を行うことができるよう、代表委員会が方策を考え、継続して実践・振り返りを行う。 <方策2> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いができるよう、互いのよさを見付け、認め合う機会を設ける。また、「十二町っ子ほかほかの木」の掲示や「ほかほか週間」を設定し、実践意欲を高める。